

令和8年度 第1回 入野小学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年5月7日（木） 14時から15時30分まで
- 2 開催場所 入野小学校 会議室
- 3 出席委員 山田 渉、岩田 邦泰、河口 光善、中村 勝彦、青木 有美
朝比奈 孝、古橋 明美、原田 実穂、北村 香苗、伊藤 朋之
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 野嶋 俊之（入野協働センター所長）
- 6 学校 坪井 百合子（校長）、江間 慎一郎（教頭）、
阿部 恭大（教務主任）
伊藤 修平（生徒指導主任）、辻村 佳之（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 辻村 佳之
- 9 浜松市学校運営協議会規則の確認
司会が第3条第1項、第5条第1項、第6条、第12条第1項・第2項、第14条第2項を読み上げ、規則の確認をした。
- 10 会長の選出及び副会長の指名
司会から会長の選出について委員に意見を求めたところ、全委員から山田委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された山田委員から、青木委員を副会長に指名する旨の報告があった。
- 11 議長の選出
司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、山田委員から伊藤委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- 12 協議事項
 - (1) 入野小学校経営方針について
 - (2) いじめ防止基本方針について
 - (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について
- 13 会議記録
司会の教頭から、委員総数の過半数の出席があるため、会議が成立している旨の報告があった。
- 14 前回会議録確認
教頭より、今年度は、SNSの取り扱いについて、児童だけではなく保護者への説明も行っていくこと、CS通信を活用して、CSの活動を家庭や地域に発信していくとの報告があった。
- 15 熟議
 - (1) 入野小学校経営方針について

校長から令和8年度学校経営方針とランドデザインについての説明があった。今年度より「教職員の業務量管理・健康確保」を実施するための働き方改革と、子供ファーストをメインとし、「知・徳・体」の三本柱として学校運営をしていくとともに、地域を含めた「チーム入野」として教育活動を進めていくとの話があった。

校長の説明を聞き、委員からは以下の意見や質問があった。

- ・先生方の努力は認めているが今以上に改革が必要なのか。(岩田委員)
- ・授業中の学習指導ではなく、例えば7時40分の玄関の開錠前や昼休み等、本来職員が授業準備として費やしたい時間に、子供のトラブルが発生し時間をとられている。トラブルはその都度迅速に対応しないと後々より大きな問題となるケースが多いため。そこに大人の眼があるだけで、トラブルを抑制することができると考えている。(校長)
- ・ランドデザインで示された「知・徳・体」が計画通り実施できたら素晴らしい。(中村委員)
- ・「やらされている」から「やりがい」につながれば、子供の向上心は伸びていく。(岩田委員)
- ・カスハラ対応の現状を教えてほしい。(河口委員)
- ・保護者との電話を録音できるよう昨年度実施した。教職員には特別な研修は行っていない。保護者はカスタマーではなくパートナーでありたい、初期の対応が肝心。(校長)
- ・浜松市が制定した対策を参考にするとよいのではないか。(中村委員)

協議の結果、全員異議なく学校経営方針を承認した。

(2) いじめ防止基本方針について

伊藤生徒指導主任から、「いじめがなく、楽しく安全」の項目では、肯定的意見が児童・教職員・保護者の全てで前年度を上回った。それは、日頃の未然防止に注力した結果と思われる。今年度も「いじめ見逃し0」を目標として指導していく。具体的には「あのね週間」の中で、担任と児童が個別に話をする時間を設けることで、早期のいじめの発見に努める。いじめの認知後は、「いじめ対策委員会」を開き、教職員間の情報共有を図り、いじめ解消に努めていく。昨年度は特に、高学年でSNS上でのトラブル、いじめが多かった。そこで、SNS上でのトラブル防止のために、4月の授業参観の際に保護者向けの情報モラル講座を実施していく。また、挨拶は、できる子とできない子の差が大きい。今後は挨拶についての振り返りを毎月タブレット端末で実施していく、との説明があった。

説明について、委員からは以下のような意見が出た。

- ・いじめ対策は進んでいると思う。「あのね」週間の対象者はどうなっているのか、時間はどの程度なのか。(岩田委員)
- ・6月中旬に全校児童を対象に、5分～10分程度実施予定である。(伊藤生徒指

導主任)

- ・児童だけでなく地域の人との協力が必要ではないか。(河口委員)
- ・保護者の有無を問わず、校内の見回りに協力していただきたい、保護者には今後アナウンスしていきたい。(校長)

(3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

教頭から、夢育やらまいかCS加算分を生かした地域学習の展開や地域人材の活用を進めていきたいとの説明があった。

- ・前年度、入野地区凧あげ会の方から、3年生は、入野地区の凧あげの歴史などを学び、6年生は生き方や考え方を学んだ。今年も3年生、6年生からの依頼があり、6年生は凧あげを実施予定である。(青木委員)
- ・凧あげを始めた歴史が分かった方がより活発になるのではないか。(岩田委員)
- ・前年度はラッパ隊の協力がありかなり盛り上がったように感じた(校長)
- ・入野地区愛称標識MAPに佐鳴湖についても掲載し、バードウォッチや昆虫など生き物についての学習などに協力できると思う。(野嶋オブザーバー)

16 報告

古橋委員より、外国人児童に対する学習支援で、学習ボランティアの協力により、今後も宿題や読み聞かせの取り組みを継続していくとの報告があった。

17 連絡事項

教頭より、今年度も学校運営協議会は4回開催予定で、次回は7月28日(火)の9時から開催する旨の報告があった。